



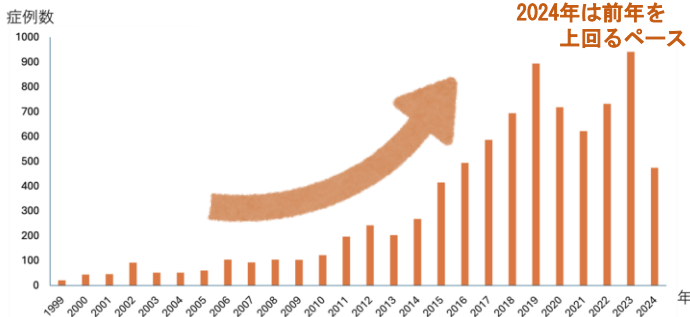
げきしょうがた ようけつせい

きゅうきんかんせんしょう

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)

が増えています。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の症例数



(出典) 日本産婦人科学会: 劇症型溶血性連鎖球菌感染症の増加について
<https://www.jsog.or.jp/news/pdf/infection02.pdf> (2024年3月22日)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)が、今年に入ってから急激に増加しています。

A群溶血性レンサ球菌(GAS)の感染によって引き起こされ、誰にでも起こりうるため注意することが大切です。

妊婦や周産期の女性、新生児などの免疫が低下している人は発症リスクが高いとされています。

どんな症状が出るの？

このような症状がある場合は、早めにかかりつけ医や産婦人科医を受診しましょう。

初期症状

のどの痛み

発熱

倦怠感

など

さらに発病後、数十時間以内で...

筋肉周辺組織の壊死、多臓器不全からショック状態に陥ることもあります。発病後数十時間で死に至ることも少なくありません。



感染予防に努めましょう



石鹸と流水で
しっかり手洗い

傷を清潔に
保ちましょう



マスクの着用、
帰宅時のうがい

お子さんの風邪症状に
気を付けましょう。

家庭内感染に注意

(タオルを共有しない、ドアノブの消毒等)

